

# 財源配分の一層の効率化を推進

## 後年度負担を考慮した行財政運営を目指して

### 2月定例町議会「町長事務方針」

2月22日から3月23日まで2月定例町議会が開かれ、平成16年度各会計の補正予算案および平成17年度各会計当初予算案、条例の一部改正案、および新規制定案など、36議案が原案のとおり可決されました。※紙面の都合上、概要のみ掲載

### 財政 節減・合理化を推進 緊急性・優先性に配慮

国・県等の財政環境を踏まえ、新年度予算の編成については、新たに、予算の質的変換、施策と予算の一体性の確保、事業の再構築を目指して、事業実施の所管である各課等で、主体的な予算編成ができる枠配分方式に取り組みました。

歳入については、町税全体で前年度を下回る見込みです。また、補助負担金についても国・県ともに極めて厳しい財政事情を背景に、縮減化に向けた制度改正により、さらに減少するものと予測しています。

### 行財政改革 基金に頼らない 財政運営へ

行財政改革の実施計画について、案として取りまとめたところでは、当面、単独での市制施行を目指す上で、持続可能な自治体として行うべき事務事業の見直しを先行しようとするものです。

基本方針としては、「経営型行政による財政の健全化」を掲げ、「基金に頼らない財政運営」を目指すこととしました。

### 企画政策 5力年実施計画を策定

第4次総合計画は、平成17年度をもって前期が終了しますが、現計画を据え置くこととし、当面は、単独での市制施行を目指す中の町のビジョンを明確にするため、5力年実施計画を策定していきます。

自治体運営の基本的な理念や仕組みを共有する「まちづくり条例」の制定に向けて、住民と行政が協力できるまちづくりの基本的な条例づくりを推進していきます。

事務事業評価制度については、新年度から本格実施する予定で、引き続き限られた予算を効果的に活かしていくための評価方法について研究していきます。

10月1日に全国一斉に国勢調査が実施されます。国調人口5万人達成に向け、市制施行を視野に入れた準備を引き続き進めていきます。

町ホームページについては、「いつでも、どこでも」行政情報や生活情報の入手を可能にするため、携帯電話からのアクセスにも対応できるように更新していきます。

### 産業振興 湛水被害の抑制へ 排水機場が稼働



▲稼働間近の長国排水機場

米政策として、経営基盤が安定した農業の担い手を育成、増加させることが急務となっています。そのため、集落単位での話し合いを促し、個々の生産者の理解を得ながら、共同営農組織の新規育成を目指して取り組んでいきます。

優良農地の保全を目的として土地利用計画を定めている農業振興地域整備計画については、8年を経過し、土地利用状況も変化してきていることから、2力年にわたり見直しを行うこととしました。

農産物直売事業については、事業計画の具体化に向けた生産者の合意形成、立地の選定、運営計画など、将来展望を立てた中で、事業化できるように、検討していきます。

農村整備については、長国湛水防除事業の第一期事業が3月に竣工し、南白亀川を挟んだ2箇所の排水機場で、それぞれ1台の排水ポンプが4月から稼働予定です。これにより、湛水被害の抑制と関係地区の排水不良の改善が順次図られるものと期待しています。

### 国保 保険証が1人1枚に

保険証の更新に併せて、被保険者一人ひとりに交付する「カード式」となります。山武郡市内で一斉に実施されるものであり、常時携帯でき、大変便利になります。

### 健康福祉 全小学校区で学童保育開始

社会福祉では、社会福祉法人による身体障害者の通所授産およびデイサービスの施設が、開所に向けて整備が進められています。

また、比較的軽度の方が共同生活をする「ふれあいホーム事業」への運営補助を新たに行うことになりました。

高齢者福祉では、「元氣な高齢者づくり」をテーマに、高齢者の社会参加と住み慣れたわが家で安心して生活していただけるよう、介護予防と地域支え合い事業に取り組んでいきます。

児童福祉では、4月から全小学校区での学童保育事業を実施します。

### 商工観光 海岸の整備に着手

雇用促進・就労対策については、ホームページや広報紙を活用して広く住民に周知し、良好な労働環境の改善に努めていきます。

## 保健師だより

### ～知って防ごう結核！～

結核は、人から人へうつる病気「感染症」です。何より怖いのは、自分自身が結核と気付かず周りの人々にうつしてしまうことです。

#### ◆結核菌はせきやくしゃみでうつります

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核患者がせきやくしゃみをする時、結核菌を含むしぶきが飛び散ります。このしぶきを吸い込むことで周囲の人に感染の機会が生じます（飛沫感染）。

#### ◆感染しても発病は10人に1人程度

結核菌の侵入に対して免疫の働きが十分であれば、肺での結核菌の増殖は抑えられます。しかし、免疫力の働きが未熟な乳幼児や、免疫力が低下している状態（糖尿病などの生活習慣病を患っている、栄養状態が悪いなど）の人は結核に感染・発病しやすくなります。

また、過去に結核菌に感染した可能性が高い人は、加齢や体力低下等で休眠していた結核菌が活動することで発病する場合があります。

#### ◆結核予防のポイント

①症状が長引いたら相談を 結核の初期症状は、風邪や気管支炎、肺炎などの症状と似ています。次のような症状が長引くようでしたら早めに医療機関に相談し

- ②1年に1回胸部エックス線検査を受けましょう。
- ③乳幼児のBCG接種は生後6カ月になる前に子どもは結核は大人に比べると重症になることが多く、生命にもかかわります。特に抵抗力の弱い乳幼児は必ず生後6カ月になる前にBCGを接種しましょう。
- ④栄養バランスのとれた食生活を 過度のダイエットや偏食は免疫力を低下させる原因となります。
- ⑤禁煙しましょう たばこの煙に含まれる有害物質には、肺がんの危険性はもちろんのこと、結核の発病にも影響する危険性があります。
- ⑥発病の危険性が高い人は特に注意を 高齢者、乳幼児、その他免疫力が低下している状態の人は、日ごろからの健康管理に注意が必要です。

問 健康福祉課健康指導係 ☎ (72) 8321

## 栄養士だより 37



### 生活習慣病予防③ 脳卒中予防の食事

脳の血管が破れたり、詰まったりする血管障害の総称が脳卒中です。動脈硬化と高血圧の予防がとても大切です。

#### ◆食生活のポイント

- ①塩分を減らす
- ②アルコールは適量を守る
- ③適正体重を維持する
- ④栄養バランスのよい食事を心掛ける

肉や魚、大豆製品などのタンパク質や野菜・海藻が習慣的に不足すると脳卒中が起こりやすくなります。これは栄養状態が悪くなるためだといわれています。また、便秘は大敵。脳卒中は排便の際に起こることも多いのです。便秘を整えるためにも食物繊維の

多い食品を日ごろから取るようにしましょう。野菜や果物には血管を丈夫にするビタミンなども多く含まれています。また、サバやイワシ、サンマなどの青魚に多く含まれるDHA・EPAは動脈硬化や血栓予防に役立ちます。その他いろいろな効用がありますので、魚を毎日1回は食べるようにしてみましょう。なお、塩分の取り過ぎは血圧を上昇させるので、塩分を控えた魚料理がおすすめです。焼き魚や刺身、煮魚にしょうゆをたっぷり使う…なんていうことはできるだけしないように注意しましょう。健康は毎日の食生活改善から。さっそく実行しましょう。

問 健康福祉課健康指導係 ☎ (72) 8321